



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 3月16日 No.224

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

とくち たいぼく ならとうだいじ た ちょうげん なんだいもん 徳地の大木 奈良東大寺に立つ 重源と南大門

でまえじゆぎょう おとす やまぐちしりつ やさかしょうがっこう とくち もくざい さんち し
出前授業で訪れた山口市立八坂小学校のある徳地は、木材の産地として知られています。そ
もくざい なら とうだいじ なんだいもん くにほう つか どうだいじ へいあんじだい まつき へいし や う
の木材が奈良東大寺の南大門(国宝)に使われています。東大寺は、平安時代末期に平氏の焼き討ち
しょうしつ さいげん しゅんじょうぼうちょうげん にんめい ちょうげん なが やく
で焼失し、その再建に俊乗房重源(1121~1206)が任命されました。重源は、長さ約30mも
たいぼく とくち やま もと おお ひとびと しどう りょう たいぼく はこ き だ
の大木を徳地の山に求め、多くの人々を指導し、ろくろを利用して大木を運びました。切り出した
もくざい さばがわ はこ んか たり せき つく みず ま せきみず い
木材は、佐波川で運びますが、深さが足りないため、堰を作って水かさを増して、関水と言われる
すいろ つく うみ だ もくざい せとないかい とお なら はこ ちょうげん さぎょう ひとびと
水路を作りました。海に出た木材は、瀬戸海を通り、奈良へ運ばれました。重源は作業をする人々
いし ぶろ げんざい つく やく ねん ごさいげんじぎょう かんせい とうだいじそくよくよう
のために石風呂(現在のサウナのようなもの)を作っています。約20年後再建事業が完成し、東大寺総供養
うんげい つく こんごうりきしぞう とくち もくざい つか こ せんらん
が行われました。運慶が作った金剛力士像にも徳地の木材が使われました。その後の戦乱により
さいげん だいぶつてん しょうしつ えとじだい さいげん なんだいもん げんざい のこ
再建した大仏殿は焼失(江戸時代に再建)しますが、南大門は現在まで残っています。参考文献『徳地町史』



重源の像(重源の里)



東大寺南大門模型(文化伝承館)



和紙人形による運搬の様子(文化伝承館)



徳地文化伝承館



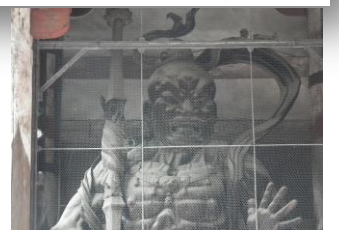
岸元の石風呂



二の宮石風呂



東大寺南大門



東大寺南大門金剛力士像

ばくまつ とくち たかすぎしんさく (187号参照) が作った 奇兵隊の駐屯地の1つでした。下関戦争や第一
じちょうしゅうせいとう ちやうしゅうはん そんのうじょうい すず しんさく かくしんは ばくふ きやうじゆん しめす
次長州征討により、長州藩では、尊王攘夷を進める晋作ら革新派から、幕府に恭順を示す
ほしゆは せいけん うつ きへいたい しよたい かいさんめいけい だ きへいたい
保守派に政権が移りました。そのため、奇兵隊はじめ諸隊に解散命令が出されましたが、奇兵隊
ようちやうたい かいさん とくち うつ かつやく とき ま げつご しんさく しものせき
と鷹懲隊は、解散せずに徳地に移り、活躍の時を待ちました。その2か月後、晋作が、下関の
こうさんじ きやへい おおた えとう たたか さんせん
功山寺で拳兵し、大田・絵堂の戦い(224号)に参戦することとなります。参考文献『徳地町史』



奇兵隊・鷹懲隊屯所跡 正慶院



正福寺(現昌福寺)



妙蓮寺(現雲相寺)



徳地勘場跡(江戸時代の役場)



山口博物館では、奇兵隊に関する資料を展示しています。ぜひ、ご来館の上ご覧ください。